

F/T 比前立腺特異抗原		2172500		
		担当部署		
F/T PSA		生化		
<b>検査オーダー</b>				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8:15~16:00		
<b>検体採取・搬送・保存</b>				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
<b>検査結果・報告</b>				
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部		
測定時間		当日中~翌日		

生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	%
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	24	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>前立腺特異抗原(PSA)は、前立腺癌のスクリーニング、診断、ならびに経過観察の最も優れた血清学的指標として汎用されているが、前立腺肥大症(BPH)でも軽度上昇を示すことが知られている。このため、癌症例と BPH 症例のいずれもが高頻度に分し得る総 PSA 値「4.1~100ng/ml」の領域は診断的グレイゾーン(diagnosticgrayzone) と呼ばれ、癌・非癌の鑑別のための新たな指標が求められていた。</p> <p>近年、PSA の血中存在様式の研究から、総 PSA に対する遊離型(蛋白非結合型)PSA の割合(F/T 比)が前立腺癌患者と非癌患者とで異なることが明らかになった。すなわち、前立腺癌患者の F/T 比は非癌患者に比べて有意に低値であり、上記グレイゾーン領域における F/T 比の測定は前立腺癌の診断精度向上に貢献すると考えられる。前立腺癌患者では、アンチキモトリプシン(ACT) と結合した PSA(PSA-ACT が、肥大症患者の血液より増加している。</p> <p>このため、F/T 比の低下と PSA-ACT の増加が前立腺癌診断の指標となる。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 340</p>				